

EARTH DAY FESTIVAL in CHOFU

江戸から学ぶ粋(ECO)なくらし

2010アースデイin調布
5月8日(土) 10:00~16:00

■会場:調布市庁舎前広場
後援 調布市/調布市教育委員会/調布市商工会/(社団)調布青年会議所/調布市立学校PTA連合会

ミュージシャンの楽しいライブ
おいしい屋台がいっぱい
調布で何かが始まる。。。詳しくはホームページで
<http://www.earthday-chofu.sakura.ne.jp>

世界中で取り組み始めた「CO2 削減」への動き。地球環境の保全は待ったなしの状況です。
2010 年アースデイ in 調布は世界の歴史からみても理想的なエコロジーの町だったという「江戸」の智慧を紹介し、多くの人に生活の身近なところで実践してもらえるような「展示」・「ワークショップ」を展開します。



同時開催
自主上映

未来の食卓

食卓から始まった小さな奇跡が、人々の幸せを紡いでいく
南フランス・バルジャック村の1年間を描きオーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタリー!!

映画「未来の食卓」上映会 (上映時間 112 分)

日時 5月8日(土) 1回目 開場 10:30 上映 11:00
2回目 開場 13:30 上映 14:00
3回目 開場 18:00 上映 18:30

特別講演 16:00~16:45 「食が子供たちの健康な未来を創る」
(金丸弘美氏 [食環境ジャーナリスト])

会場 文化会館たづくり8F 映像シアター (調布市庁舎ヨコ・調布市小島町 2-33-1)
上映資料代 前渡し 800 円 当日 1000 円 小中学生 500 円 (前渡し・当日ともに同じ)
幼児 無料

主催 2010 アースデイ in 調布 実行委員会
申込み 〒182-0026 調布市小島町 2-35-1 調布市職員労働組合内
FAX. 042-489-1997 E-mail: NQF04862@nifty.com



同時開催
自主上映



未来の食卓

「食」への警告映画 今、日本に上陸!!
お金より命が大切だと
南仏の小さな村から始まった奇跡の実話!!



食卓から始まった小さな奇跡が、人々の幸せを紡いでいく

南フランス・バルジャック村の1年間を描きオーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタリー!
美しい自然に囲まれた南フランス、バルジャック村。ショーレ村長は子供たちの未来を守るため「学校給食と高齢者の宅配給食をオーガニックにする」という前例のない試みに挑戦しました。大人たちは「オーガニックは値段が高いのに、村の財政でまかなえるのか」と戸惑っていましたが、オーガニック給食や学校菜園での野菜作りを通して自然の味を覚えた子供たちに巻き込まれ、小さな村は少しずつ変化していきます。(でも、すべての子供が野菜好きになるには、時間がかかります。フライドポテトが大好きな低学年のフィリップは、まだ抵抗しています!!)

子供たちの未来を考える「おいしい」オーガニックライフのススメ

映画の冒頭、ユネスコ会議での「あなたの周りに、がんや糖尿病にかかった人はいますか?」という健康科学研究者の問いかけに、出席者のほとんどが挙手しました。ヨーロッパでは、癌や糖尿病などの生活習慣病の70%は食習慣を含む、環境に原因があるとされています。あなたはこの数字をどのようにとらえますか? 地球の温暖化、環境破壊にも農業のあり方と食生活が密接に関係しています。この映画は、有機栽培農家と一般農家との対話や、家族を癌で失った主婦の体験を通して、私たちでもできる新しい生活を見せてくれます。

「美こそ世界を救う」に込められた ジャン＝ポール・ジョー監督の想い

「環境問題を考えたとき世界を変えていくには、子供たちと母親、そして未来の母親である女性の存在が大きいと思います。この作品を作るにあたって私は最後に希望を必ず残したかったのです。今すぐに行動すれば希望は失われないという希望です。ドストエフスキーはこういいました「美こそ世界を救う」と。この作品は自然の美しさへのオマージュです。そして自然の美しさを守る事こそが子供たちの未来を守る事だと私は信じているのです」

未来の食卓 公式サイト <http://www.uplink.co.jp/shokutaku/index.php>

同時開催
特別講演



16:00~16:45 「食が子供たちの健康な未来を創る」 講演:金丸弘美氏 [食環境ジャーナリスト]

地域に根付いた食文化を再発見し、各地の元気をネットワークをすることを実践の場から発信しています。「食からの地域再生」「食育と味覚ワークショップ」「地域デザイン」をテーマに全国の地域活動のコーディネート、アドバイス事業、取材および執筆。また各行政機関と連携した食からの地域創り、特産品のプロモーション、食育事業のアドバイザーとして活動。2008年からの総務省地域力創造アドバイザー事業、農林水産省ブランド化支援事業プロデューサーを、2009年から内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師を行っています。行政機関のアドバイザー、コーディネーターなどをはじめ、大学、小中高までの授業、実践までを行っています。とくに食のテキストづくりから行う食のワークショップが好評です。

【協力団体イベント紹介】 第21回調布親子まつり ~楽しく Join!~

2010年5月9日(日)
10:00~16:00
調布市庁舎前庭&文化会館たづくり
雨天決行! 参加費無料

※一部例外あり
調布親子まつりにはいろいろな工作やあそび、読み聞かせ、和太鼓や合唱、ダンスなどの舞台と笑顔の素がもりたくさん!
子どももお母さんもお父さんも赤ちゃんもおじいさんもおばあさんもお兄さんもお姉さんも楽しい調布親子まつりにいっしょーい!

☆児童館こどもスペシャルイベントと 同時開催☆

連絡先
西村久子 090-1431-1511
橋本文子 042-487-5279
HPURL <http://oyakomatsuri.com>

アースデイは「地球を考える日」

アースデイ in 調布は今年で第20回を迎えます。
アースデイとは 1970 年 4 月 22 日アメリカの学生の呼びかけがきっかけとなり「地球のために行動する日」としてスタートしました。1990 年には世界各国に呼びかけられ2億人が参加。日本でも全国 200 ヶ所、1000 を超えるグループや個人が参加する大きなイベントになりました。
その後、世界的に環境問題が緊急課題として取り組まれ 1997 年「京都議定書」が締結されましたが、当面、目標をクリアするのは困難な状況です。しかし、環境問題への取り組みは「まったなし!」です。「地球」からの恩恵を世界の次世代の人々が享受できるように努力するのは私たちの責任です。
調布アースデイは 1990 年悪臭を放つ「野川」をきれいにしたい!という地元の環境問題からスタートしました。「食の安全」「水」「ごみ」「ダイオキシン」「原発」「人権」「平和」などのテーマを設定して、地域の環境問題に取り組むグループ、福祉作業所、自主保育グループ、N G O、N P O で活動している人たちが集まって運営しています。このイベントを通して「私たちの暮らしは世界の環境問題に密接に関係している」ことを伝えられたらと思います。アースデイを通して「私にできるもできる地球にやさしい事」をそれぞれ見つけてください。

お問い合わせ・お申し込み
アースデイ in 調布実行委員会
調布市小島町 2-35-1 調布市職員労働組合内
FAX:042-489-1997
Mail: NQF04860@nifty.com
<http://www.earthday-chofu.sakura.ne.jp>